

事務事業評価&総合計画実施計画調査シート

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	531-2 合同就職セミナー事業	会計	01	一般会計
基本	46 地元で魅力的な雇用の場をつくる	款	05	労働費
策		項	01	労働費
策	5 情報提供と相談機会の充実	目	02	労働諸費
		細目	102	雇用、勤労者対策事業
	細々目	01	雇用、勤労者対策事業	
基本計画該当頁		169		行革大綱の重点事項番号
担当部課	コード	160500		評価者
	名称	産業振興部商工観光課		氏名
		伊室 春利	連絡先	22 - 9672 (内線) 2751

事業の計画・内容

対象等(何を、誰を)	成果(どうなるのか)
地元で就職を希望する学生および求職者 地域で就職を希望する大都市圏学生 (※対象件数)	就職セミナーの開催により地元企業の情報を得ることができる 地域の中小企業とのマッチングを行うことで地域経済の後継者育成を図る
根拠法令・要綱等	
開始年度 平成 年度 終了年度 平成 年度	関連事業
事業内容 合同就職セミナーを開催し、経済動向の不安等もあり、多数の未就職者の参加が得られた。一方、参加企業は雇用縮小などの影響で減少した。1回目は11月に開催し、世界同時不況の初期的段階であったため希望的観測も多く、37社に対し、108人が参加した。2回目は2月に開催し、34社に対し172人もの参加者を得た。2回目については、例年より既卒者数が多く、派遣切りなどの影響も見られた。特に、例年は見られない休職中の高齢の方も見られた。	状況変化等 地元で就職を希望する学生や求職者に対し、市内立地企業との情報交換の場として合同就職セミナー(合同求人説明会)の開催を委託し、地元雇用の促進を図る。平成20年度から予算は減額になったが、回数は減らさず存続することで雇用対策と企業の労働力の確保に尽力する。また、首都圏をはじめとする大都市圏の大学生を呼び込み、地元企業のPRを行うほか、地元企業と学生のマッチングの場とするため、平成22年度からバス等による地元企業訪問などの事業を検討し一般財源による予算化を進めていく。

整備内容

1 建設用地	千円
2 建設面積(延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	

運営体制

1 運営主体	<input type="checkbox"/> 直営 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 民間委託等
委託先	人 千円
2 配置(予定)人員	
3 年間運営費	
4 市内の類似施設	

事業種別	継続	単独	事業類型	I	ソフト事業	2次評価対象分
------	----	----	------	---	-------	---------

事業実績

活動指標	単位	実績値		目標値	
		H19	H20	H21	H22
就職セミナー開催回数	回	目標 2 実績 2	目標 2 実績 2	2	2
就職セミナー参加企業への就職者数	人	目標 実績	目標 実績		50
バス事業実施	回	目標 実績	目標 実績		1

評価指標

事業の成果を測る指標	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
			H19	H20	H21	H22
就職セミナー参加企業	就職セミナーへの参加企業が増加することにより、雇用の選択が多様になり雇用促進に繋がる	社	目標 82 実績 100	目標 86 実績 71	70	75
就職セミナー参加者数(面談数)	雇用機会の増加を図る上で、参加者数(面談数)の増を目標とする	人	目標 673 実績 868	目標 684 実績 722	691	500

評価

評価項目	ポイント	評価項目についてのコメント
必要性	4	世界同時不況や国内企業の生産調整などで失職した多くの人たちに、地元企業の情報を提供することにより就職促進を図り生活の安定を支援する
有効性	3	若年者の地元企業への定着を図ることが労働力確保や市の進めるまちづくりのうえで重要であり、地元企業が一同に会して情報を提供することにより学生、求職者に地元企業の魅力を認識してもらう。20年度については経済不況に端を発する労働者削減の動きもあり、参加者も多く、雇用対策としても有効であった。
達成度	4	開催時期を冬期の11月と2月とし、対象者についても未就職者を幅広く募ったため、セミナー参加者数(面談数)は増加した。多数、多様な地元企業の情報が提供できた。ただ、景気情勢などから、参加企業数は減少した。
効率性	3	商工会議所へ委託している事業であるが、委託金額について削減している。参加企業負担金でまかなう必要があるが、これが出展の足かせにもなり委託先の商工会議所と開催の仕方や会場などを含めた検討を行っていく。

総合評価	事業の方向性	改善についての取り組み
A	現状維持	今後も開催時期や対象者について、アンケート調査等を行い、企業や求職者のニーズを的確に把握する。

年度	進捗状況	平成19年度 決算内容			平成20年度 決算内容			平成21年度 計画内容			平成22年度 計画内容			平成23年度 計画内容			平成24年度 計画内容		
		事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)	事業内容	数量	金額(千円)
委託	↔	UJiターン促進事業委託金		400	UJiターン促進事業委託金		300												
工事		その他経費		30	その他経費(燃料費・消耗品費)		124	その他経費(燃料費・消耗品費)		39									
進捗率(%)		事業費計(A)	Σ	430	事業費計(A)	Σ	424	事業費計(A)	Σ	339	事業費計(A)	Σ	2,839	事業費計(A)	Σ	2,839	事業費計(A)	Σ	2,839
事業投入人員		人件費(B)	0.3	人 2,160	人件費(B)	0.2	人 1,440												
フルコスト(A)+(B)				2,590			1,864			1,779			4,279			4,279			4,279

事業費(人件費除く)の財源内訳

(A) 事業費	430	424	339	2,839	2,839	2,839
Aの財源内訳						
国庫支出金						
県支出金						
地方債						
受益者負担						
その他						
一般財源	430	424	339	2,839	2,839	2,839
計	430	424	339	2,839	2,839	2,839
備考	その他特定財源の名称・補助基本額・率 地方債の区分と充当率等					